



14 海の豊かさを守ろう



目標 14 海の豊かさを守ろう

グリーンフィンズでサンゴにやさしい シュノーケリング ダイビングを楽しもう

2分でわかる海のこと：
青い海を守るための「Green Fins」



サンゴに触ったり、蹴ったり、膝をついたり、寝転がったり、踏んだりしない

足やフィンに常に気をつけましょう。ダイバーやシュノーケラーは、足やフィンで簡単にサンゴを壊してしまいます。サンゴはとても壊れやすく、成長するのに長い時間がかかります。サンゴを踏んだり蹴ったりすると、サンゴが壊れたり、病気に罹ったり、死んでしまったりすることがあり、さらにあなたも足を切るかもしれません。



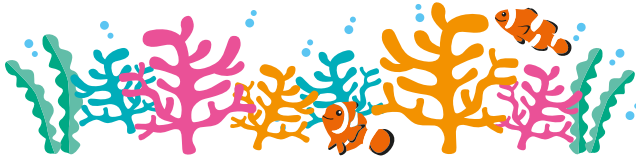
沈殿物を巻き上げない

十分に注意しないと、フィンが土砂やゴミを巻き上げて、小さな生息地を乱し、サンゴを覆ってしまうことがあります。これは、サンゴの光合成能力を低下させ、サンゴを死滅させる可能性があります。また、病気が蔓延したり、小さな生物が流されたり、捕食される可能性が高まったりすることもあります。



海洋生物を追いかけたり触ったりしない

これは、どんな生物にも大きなストレスを与えます。また、病気を伝染させたり、魚類、哺乳類、無脊椎動物などの保護膜を剥がしたりすることもあります。見ても触ったり、近寄りすぎないようにしましょう。海洋生物に十分なスペースを与えることで、より長く、楽しい出会いがある可能性も高くなります。



(Green Fins ガイドライン一部抜粋)

GREEN FINS | なぜ魚の餌付けをしてはいけないのか

1. ダイバーやシュノーケラーが、パンや米、生ごみを魚に与えると...
2. 魚たちはダイバーやシュノーケラーに近づこうと、自分のなわばりや魚を離れてしまい、捕食者に狙われやすくなる。
3. 通常は単独で行動している種類の生物が、集団で捕食するという不自然な行動を取るようになり、果敢より狙われやすくなる。
4. 普段、藻類を食べている魚が人間が与える餌を食べるようになるため、サンゴについた藻類がどんどん育ち、サンゴの表面を覆ってしまい、窒息死を引き起こす。
5. 通常、魚は藻類を食べる際に、削ってサンゴを捕食するオニヒトデのような生き物の餌も食べている。餌付けによってこうした行動がなくなり、サンゴの捕食者の数が増え、サンゴ種へのダメージがより大きくなる。

ほとんどの海洋生物は、特定の食べ物を食べ、消化を助ける特定の細菌を持っています。合わない食べ物を与えられると、ふだん食べているものに適さない種類の細菌が胃の中に広がり、自然の食べ物を消化出来なくなり、餓死してしまう可能性があります。

UN@ environment programme | oca | OMA | oceanic

マリンレジャーが抱える課題

恩納村には、「青の洞窟」をはじめとする無数のダイビングスポットが点在し、毎年多くの方がマリンレジャーに訪れています。

また、100を超えるマリンレジャー事業者が存在し、村内外からの事業者、個人など様々な方が恩納村の海を楽しんでいます。

一方で、意識せずにサンゴ礁を踏みつけてしまったり、魚へ餌付けをしたりすることによる生態系への影響が懸念されています。

日本初！

恩納村で始まったグリーンフィンズ

恩納村は、環境に配慮しながらマリンレジャーを楽しむための国際的なガイドライン「グリーンフィンズ」の導入を日本で初めて行いました。地方自治体が主体となつての導入は**世界初**となります。

すでに15店舗のショップが認定され、環境に優しいマリンレジャーの取り組みを提供しています。

ガイドラインで環境への理解を深めることや、認定店を選ぶことで恩納村のサンゴにやさしく豊かな海を楽しむことができます。

「なぜ餌付けをしてはいけないのか」一緒に考えてみませんか。

お問い合わせ：企画課 ☎966-1201

「恩納村Green Fins 認定店」一覧

